



アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

「学校の防災・減災教育」を支援！！ ～子どもたちに困難を生き抜く力を～ 第7回 助成校 募集中！（7/22 応募締切）

◆助成校募集開始！！

今年度の助成校の募集を開始しました。 締切は7月22日（水）※郵送必着
募集概要は次ページをご覧ください。

◆58,650人が活動に参加！！

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、学校の防災・減災教育の強化を支援する「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」を実施しています。2014年に始まり今年で7回目。過去6年間で助成校139校、196名の先生が教員研修会に参加。各助成校が実施した防災・減災教育活動に児童・生徒、地域住民等合わせて、のべ58,650名が参加しています。

◆将来の地域防災リーダーを育てる！

東日本大震災などの過去の自然災害の教訓を活かし、今後に備えるための取り組みが求められています。

本プログラムが提供する『新しい視点の防災・減災教育の基礎理論』や、『被災地の学校の経験や教育実践』。各校の防災・減災教育に活用いただけます。そして、既知や未知の災害や様々な困難に対して、解決策を見出す力の基盤である、児童・生徒の『生きる力』。『多様な人々と協働し、社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質』。これらの能力、資質を育成する教育実践を支援し、将来の地域防災を担うリーダーを育てることを目指しています。

◆3つのプログラム！

本プログラムWebサイト(www.unesco.or.jp/gensai/)でも詳細をご覧ください！

助成金（7/22〆切）
助成金10万円を支援し、**予算面**
から学校の防災をサポート

9月 オンライン教育研修会
気仙沼市、講師と助成校をネット
で結び、**被災地の経験**を学ぶ

2月 活動報告会・教育フォーラム
各校の実践発表、情報交換
最新の防災・減災理論の学習



助成校の活動実践例

教員研修会

- ◇主 催：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
- ◇協 力：アクサ生命保険株式会社
- ◇後 援：文部科学省
- ◇コーディネーター
及川幸彦（東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター）

【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
企画部：上岡、藤田（将）

メール：gensai@unesco.or.jp

TEL：03-5424-1121

URL <http://www.unesco.or.jp>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1

朝日生命恵比寿ビル 12階

【プログラムの目的】

2020年は、世界中が新型コロナウイルスにより大きな困難を抱え、社会や生活様式を変えていかなければならない状況に陥っています。このような中でも、自然災害はいつどこで発生するか分かりません。東日本大震災から9年の月日が経過した今日においても、大震災の記憶を風化させず、その教訓を活かし、今後起こり得る災害に備えるための取り組みが求められています。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、災害時に地域の重要な防災・減災拠点となる学校の「防災・減災教育」を推進し、将来、地域の防災リーダーとなり得る児童・生徒を育てる支援事業として、「アクサユネスコ協会 減災教育プログラム」を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況だからこそ、本プログラムが提供する新しい視点の防災・減災教育の理論や、被災地の学校の経験や教育実践を、各校の防災・減災教育に活用していただきたいと考えています。本プログラムは、既知や未知の災害や困難に立ち向かい、解決策を見出す力の基盤となる、児童・生徒の『生きる力』、そして、『多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質』を育成する教育実践を支援しています。

【助成対象校】

今後起こり得る様々な自然災害に備えるための「防災・減災教育」に取り組む小学校、中学校、高等学校（義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校等を含む）

【助成対象分野】

防災・減災教育の授業や活動に必要なもの。

【助成金額】

1校につき助成金10万円（一律）

【申請条件】下記①～⑤のすべてを満たすことを応募条件とします。

- ①助成対象活動は、2020年4月1日以降に活動を開始し、2021年3月末日までに終了する活動であること。
- ②2020年9月24日（木）～25日（金）に開催する「オンライン教員研修会」の全日程に、1校につき最大2名の教員が参加できること。
- ③2021年2月中・下旬頃（金～土曜日）に東京都内で開催する「活動報告会および減災教育フォーラム」（1泊2日）の全日程に、1校につき最大2名の教員を派遣し、活動報告を行うこと。（オンラインでの開催に変更になる場合があります。）
- ④活動終了後、2021年3月末日までに、所定の様式にて、活動報告書および会計報告書を提出できること。
- ⑤本プログラムのオンライン研修の受講に必要なインターネット回線、パソコン周辺機器など、オンライン会議（ZOOMなど）ができるICT環境を自校でご準備できること。

【申請締切日】

2020年7月22日（水） 郵送必着

【本プログラムWebサイト】

募集内容の詳細は、必ず募集要項をご確認ください。募集要項、申請用紙は本プログラムホームページ（www.unesco.or.jp/gensai/）からダウンロードできます。



活動報告会



減災教育フォーラム（パネルディスカッション）



減災教育フォーラム（グループセッション）

【参考】**「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」 オンライン研修会プログラム(案)**

※研修内容、当日のスケジュール等に関しては、変更になる場合がございます。

【1日目】 9月24日(木) 13:15～16:45

閉会式	開会の言葉(主催者・ご協力企業)、講師ご紹介
オリエンテーション	研修プログラムの趣旨・内容・目的・意義
研修1	「東日本大震災からの教育復興」 演題 「宮城県気仙沼市における東日本大震災の被害状況と教育復興の教訓(仮)」
研修2	『新たな視点からの防災・減災教育の基礎と理論』 演題 「これから必要とされる防災・減災教育とは？ ～災害を乗り越え、生き抜く力を育む防災・減災教育(仮)」
研修3	『防災・減災教育のカリキュラムマネジメント』 演題 「防災・減災教育カリキュラムの開発手法と実践 ～防災学習シートの活用を通して～」
総括	1日目の総括

【2日目】 9月25日(金) 9:00～16:45

研修4	『東日本大震災からの復興における気仙沼市教育委員会の役割(仮)』
研修5	『小学校における防災・減災教育の実践』 <授業参観・ディスカッションなど> 実践発表(中継)
研修6	『中学校における防災・減災教育の実践』 <生徒の実践発表と生徒と参加者との対話など> 実践発表(中継)
研修7	『高校における防災・減災教育の実践』 実践発表(中継)
研修8	『防災・減災教育推進のためのネットワーク構築の意義と方法』 演題 「減災教育におけるN助の必要性 ～地域や外部とのネットワーク～」
研修9	ワークショップ 『研修成果の共有と今後の展望』
総括	本研修の総括
閉会式	閉会の言葉(主催者)

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟とは

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

(UNESCO 憲章前文より)

日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO 憲章の精神にのっとり、民間ユネスコ運動を推進することを目的に1948年に全国のユネスコ協会の連盟体として設立された非政府組織(NGO)です。日本各地にある約285の地域ユネスコ協会とともに活動を続け、国内外の教育・文化などの分野で様々な活動を行っています。